

官職署名の検証方法の解説

1 署名検証方法の概要

官職署名の検証は、データが改ざんされたものでないかの検証（以下「改ざん確認」といいます。）と、署名に利用されている官職証明書が失効していないかの確認（以下「失効確認」といいます。）により行います。

(1) 改ざん確認

改ざん確認は、Acrobat Reader DC を使用して以下の手順（①～④）で行います。

(2) 失効確認

失効確認は、以下の手順（①～⑧）で官職証明書の書き出しを行った後、JPKI 利用者ソフトを使用して行います。JPKI 利用者ソフトで失効確認を行う手順については、公的個人認証サービスポータルサイトをご参照ください。

URL:https://www.jpki.go.jp/download/howto_win/open_p03.html (Windows 版)

URL:https://www.jpki.go.jp/download/howto_mac/open_p03.html (Macintosh 版)

※ JPKI 利用者ソフトのインストールが必要になります。

参考 信頼性確認

お使いのパソコンに官職認証局の自己署名証明書をインストールしておくことで、以下の手順（②）で、電子通知書の発行元が国税庁長官であることを確認できます。（インストールしていなくても、上記 1 (1)改ざん確認と(2)失効確認については、問題なく行うことができます。）

官職認証局の自己署名証明書については、政府認証基盤（GPKI）のホームページよりダウンロードすることができます。

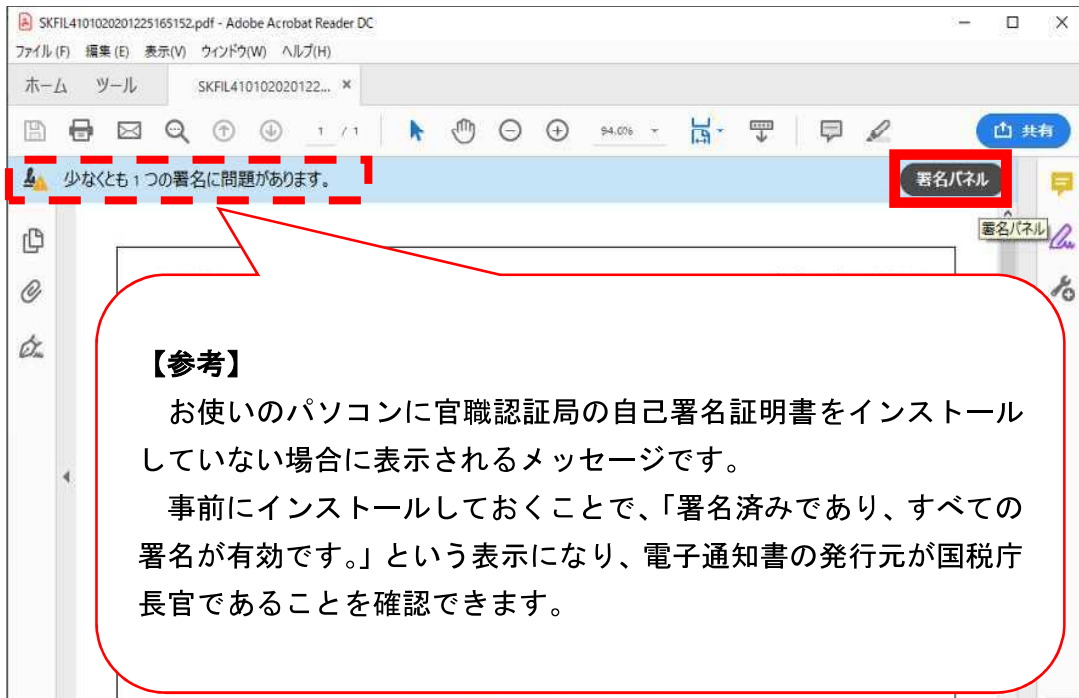
URL : https://www.gpki.go.jp/selfcert/self_cert.html

※インストール方法などは政府認証基盤（GPKI）にお問い合わせください。

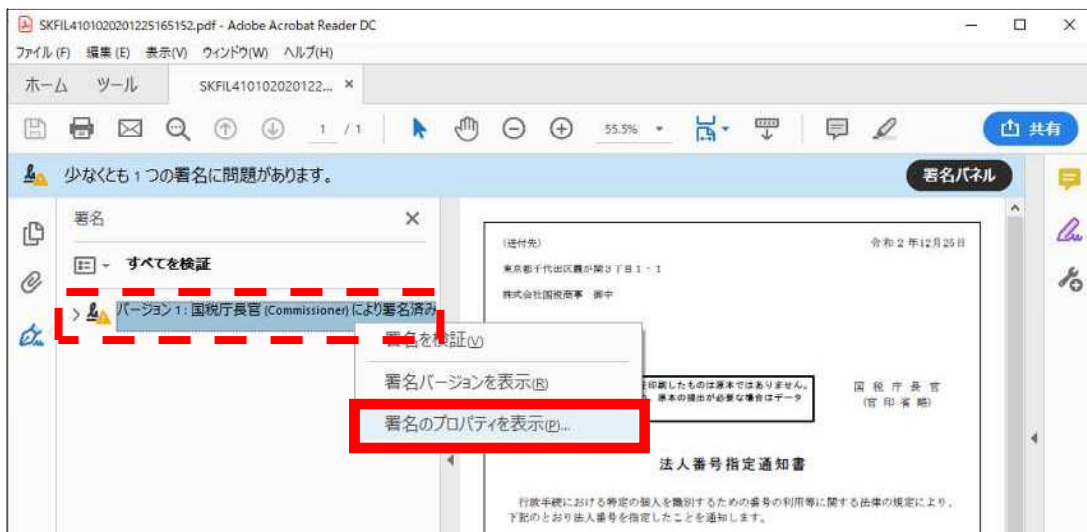
2 パソコンでの操作方法

お使いのパソコンが Windows の場合、Macintosh の場合も操作方法は同じです。

- ① ダウンロードした法人番号指定通知書を Acrobat Reader DC で開きます。
- ② 「署名パネル」をクリックします。



- ③ バージョン1: 「国税庁長官 (commissioner) により署名済み」を右クリックし、「署名のプロパティを表示」をクリックします。



- ④ 「正当性の概要」から、改ざん確認を行うことができます。
失効確認を行う場合は、「署名者の証明書を表示」をクリックします。

署名のプロパティ

署名の完全性は不明です。

正当性の概要

文書は、この署名が適用された後、変更されていません。

証明者は、この文書についてフォームフィールドの入力、署名、および注釈の作成を許可することを指定しています。その他の変更は許可されていません。

署名者の ID は信頼済み証明書の一覧に見つからず、親証明書も信頼済み証明書ではないので、この ID は不明です

署名者の ID は信頼済み証明書の一覧に見つからず、親証明書も信頼済み証明書ではないので、この ID は不明です

署名は現在の時刻に検証されました:
2020/12/28 10:23:32 +09'00'

署名者情報

署名者の証明書から発行者の証明書へのパスは正しく構築されました。

失効確認は実行されませんでした。

署名者の証明書を表示(S)...

詳細プロパティ(A)... 署名を検証(V) 閉じる(C)

文書（法人番号指定通知書）が電子署名を付与した後に改ざんされていないことを確認できます。

失効確認を行う場合は、こちらをクリックしてください。

- ⑤ 「書き出し」をクリックします。

証明書ビューア

このダイアログボックスを使用して、証明書およびその発行チェーン全体の詳細を表示できます。表示される詳細は、選択したエントリに対応しています。信頼点によって発行されたチェーンがないため、複数の発行チェーンが表示されています。

見つかったすべての証明パスを表示(S)

官職認証局
国税庁長官

概要 詳細 失効 信頼 ポリシー 法律上の注意事項

国税庁長官 (Commissioner)
財務省, 外局, 国税庁 (Ministry of Finance,
発行者: 官職認証局 (OfficialStatusCA)

有効期間の開始: 2020/08/20 00:00:00 +09'00'
有効期間の終了: 2025/08/19 23:59:59 +09'00'
鍵の使用法: 電子署名, 否認防止

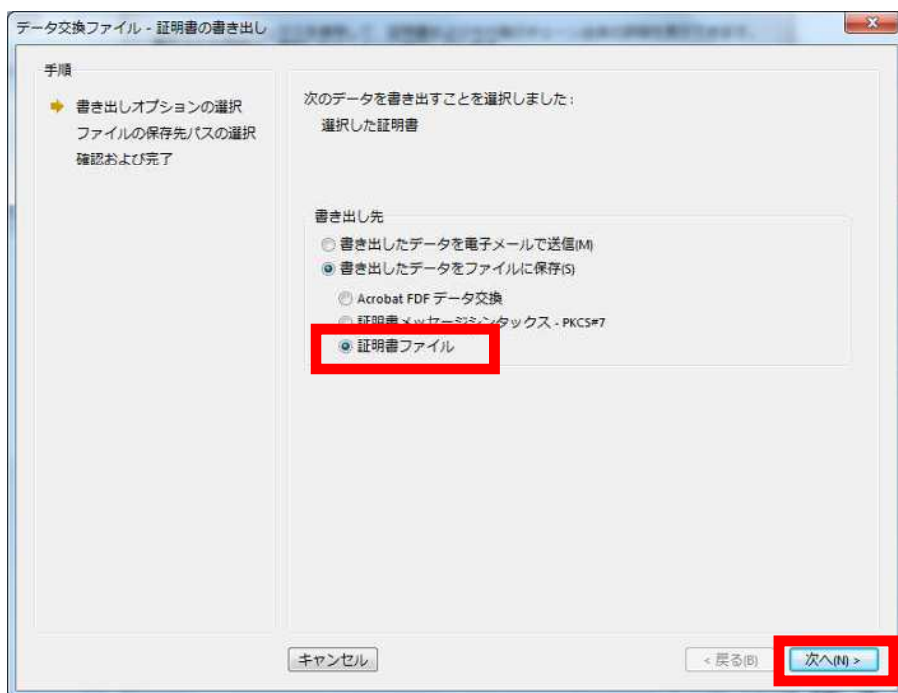
書き出し(O)...

選択した証明パスは有効です。
パスの検証確認は、現在の時刻に行われました:
2021/01/12 14:05:38 +09'00'
検証モデル: シェル

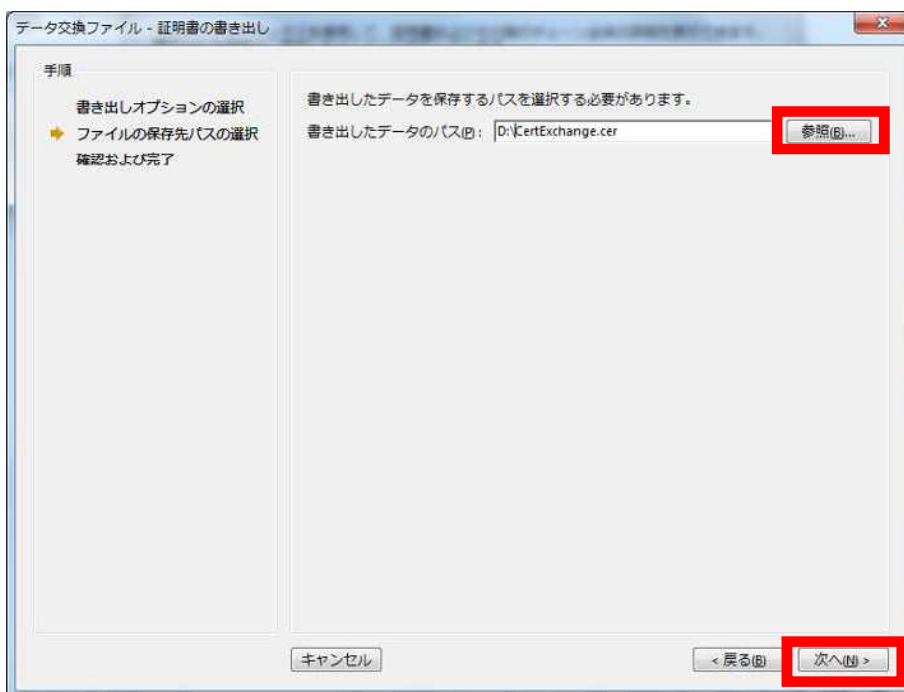
OK

【参考】 Acrobat Reader DC のバージョンによって、表示内容が変わる場合があります。

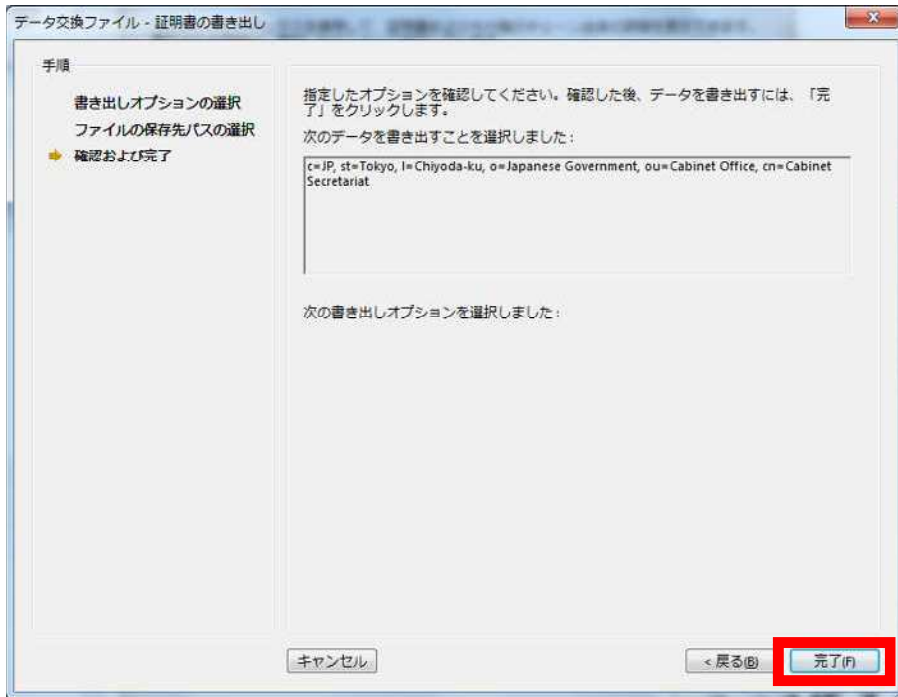
- ⑥ 「証明書ファイル」を選択し、「次へ」をクリックします。



- ⑦ 任意の出力先を選択し、「次へ」をクリックします。



⑧ 「完了」をクリックすると、証明書の書き出しが完了します。



3 失効確認について（続き）

失効確認は、JPKI 利用者ソフトを使用して、上記 2 ⑧で書き出しを行った官職証明書を用いて行います。JPKI 利用者ソフトで失効確認を行う手順については、公的個人認証サービスポータルサイトをご参照ください。

URL:https://www.jpki.go.jp/download/howto_win/open_p03.html (Windows 版)

URL:https://www.jpki.go.jp/download/howto_mac/open_p03.html (Macintosh 版)

※ JPKI 利用者ソフトのインストールが必要になります。